

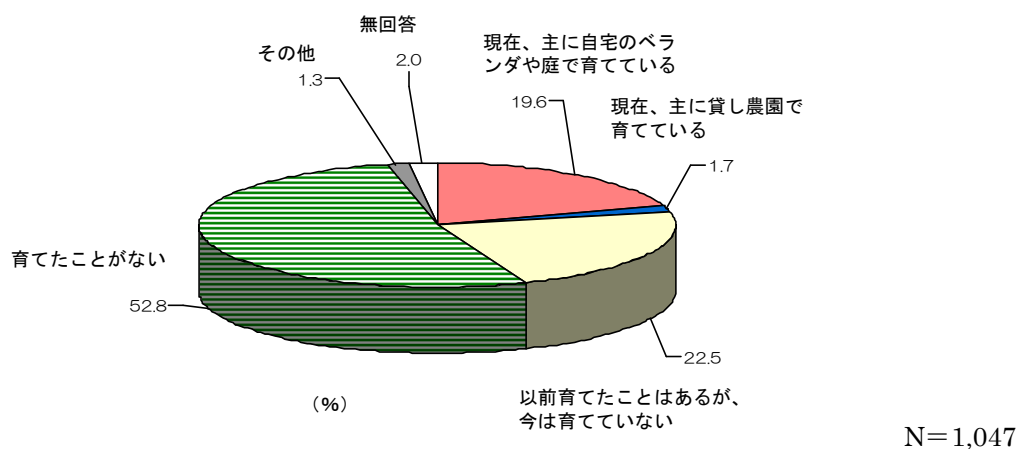
①野菜と米づくりについて

家庭での野菜づくりは、とれたての新鮮な野菜が食べられるだけでなく、育てる楽しさや収穫の喜びなども併せて感じることができます。

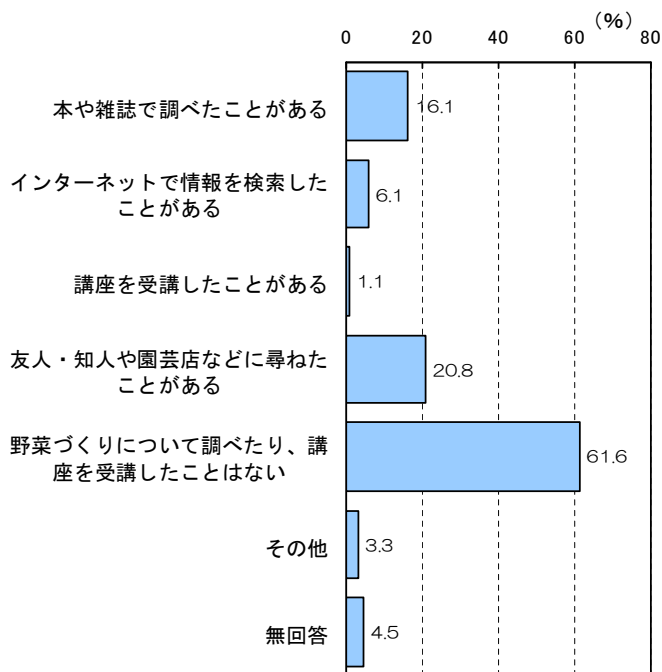
そこで、家庭での野菜づくりの普及について、皆様のお考えをお尋ねし、事業を進めるうえでの参考とさせていただくものです。

※各図表の「N」は、回答者総数を表しています。

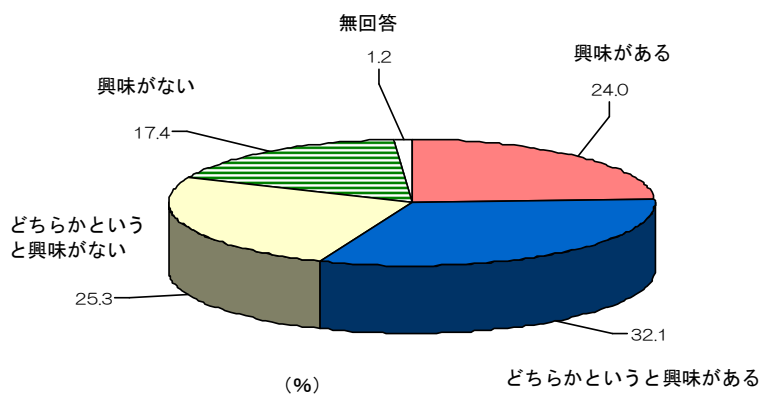
問1 あなたのご家庭では、自宅のベランダや庭などで野菜を育てていますか。(〇は1つだけ)



問2 あなたは、野菜づくりについて調べたり、講座を受講したことはありますか。(〇はいくつでも)



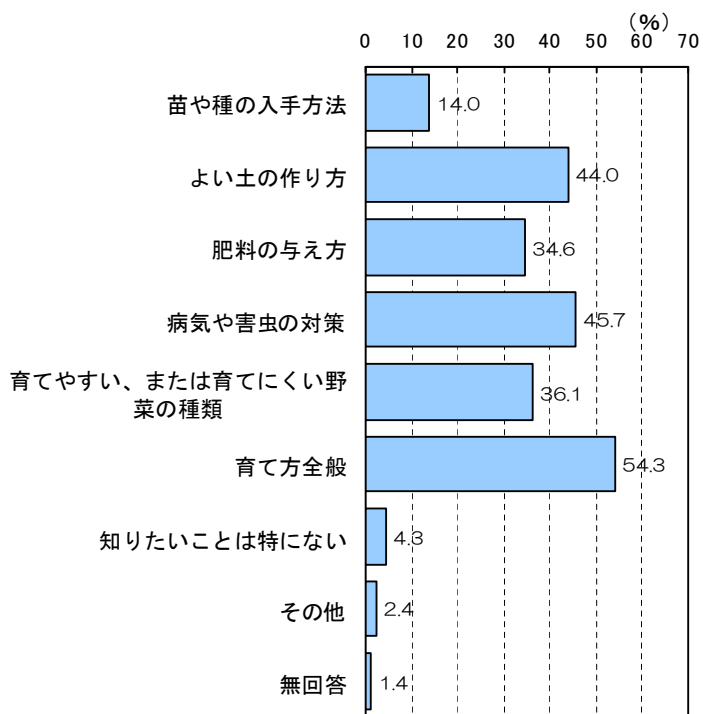
問3 あなたは、野菜づくりに興味がありますか。(○は**1つだけ**)



N=1,047

《問3で1、2を選んだ方(野菜づくりに興味がある方)にお尋ねします。》

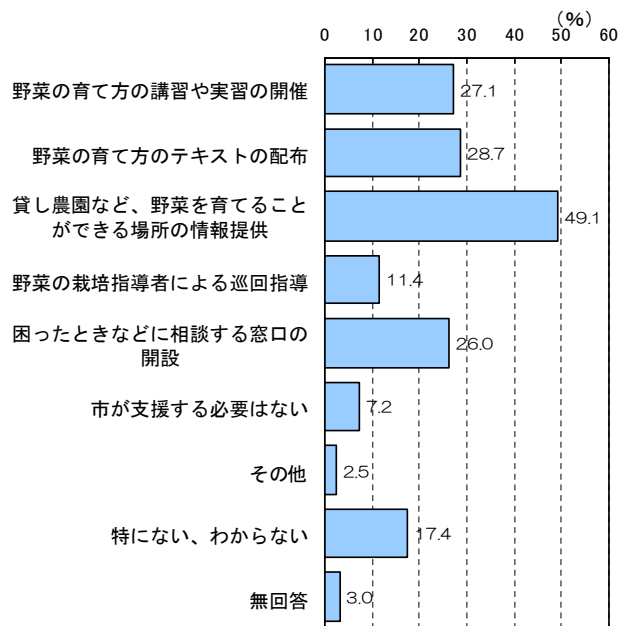
問4 あなたは、野菜づくりで何を知りたいですか。(○は**いくつでも**)



N=587

《すべての方にお尋ねします。》

問5 家庭での野菜づくりのための支援として、市が積極的に行うと良いと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)



N=1,047

名古屋市では、自然とのふれあいや農業への理解を進めるため、市民の方が水田で稲の栽培を実践できる水田農園の設置を検討しております。

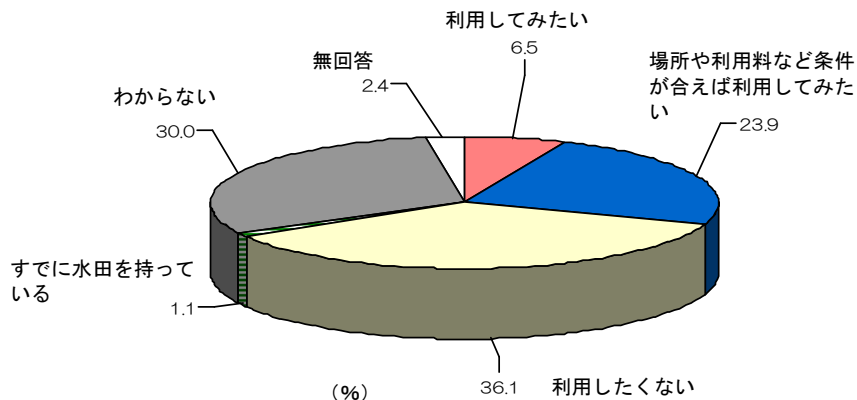
水田農園では、下記の作業を参加者に共同作業で行なっていただきます。作業日数は、年間5日間で、その都度、農家の指導が受けられます。なお、下記以外に必要な作業は、農園の管理者が行います。

月	5月	6月	8月	10月	11月
作業	田植え	草取り	かかし作り	稲刈り	脱穀(だっこく) もみすり

※ 脱穀(だっこく)とは、稲刈りをした稲穂から、もみ(殻を被ったお米)を取り外す作業のことです。

※ もみすりとは、もみ(殻をかぶったお米)の殻を外し玄米にする作業のことです。

問6 市内に水田農園が開園した場合、利用してみたいですか。(〇は1つだけ)



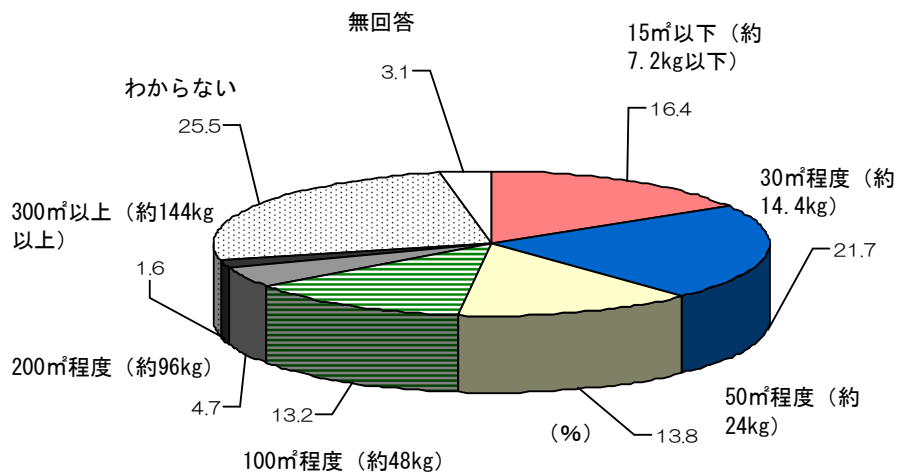
N=1,047

《問6で1、2を選んだ方(水田を利用してみたい方)にお尋ねします。》

問7 水田農園の1人あたりの作業の広さは、どれくらいが適当だと思いますか。

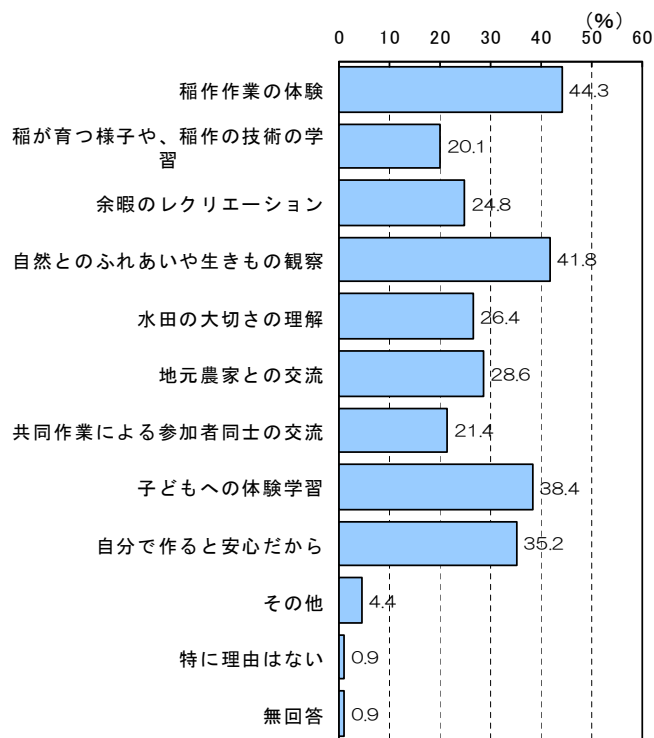
(○は1つだけ) ※1人が年間に食べる米の量は約60kgです

注：()の数は収穫される米の目安です



N=318

問8 あなたが、水田農園を利用したいと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)



N=318